

令和6年シラス曳網調査結果 (第1報)

令和6年5月28日
福島県水産海洋研究センター

1 相馬海域

(1) 調査日

5月23日

(2) 調査海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 31m)、
141-10E(水深 37m)、141-15E(水深 54m)

(3) 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

(4) 調査結果

ア 表面水温(図 1)

16.8°C~17.0°C

イ シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 12~2,512 尾 (合計 2,673 尾)

今回のシラス採捕数は去年同期(2023 年 5 月 29 日、0~223 尾、合計 345 尾)よりも多い結果となりました。

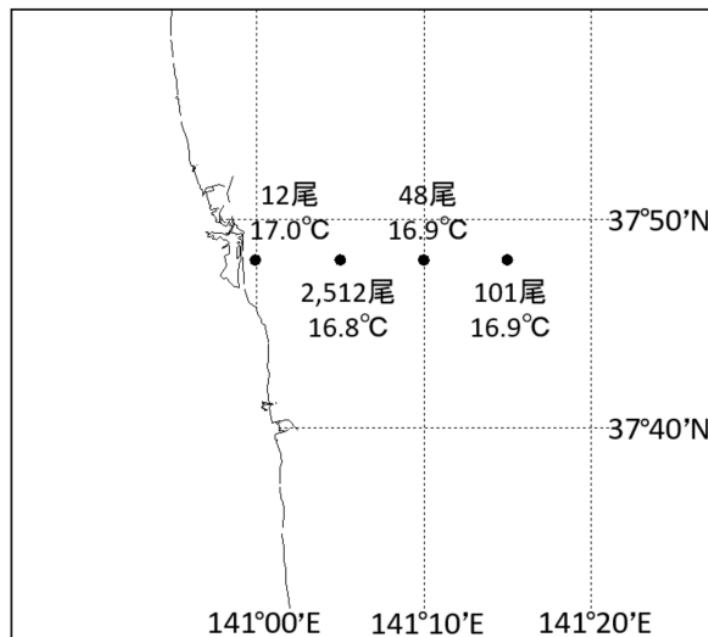


図1 カタクチイワシシラス採捕数

ウ シラス全長(図2)

全長範囲：5.8~30.5mm(モード：14.0~16.0mm)

15mm前後のシラスが採捕されました。

141-00E、141-15E では15mm前後の群、141-05E、141-10E では15mm前後、25mm前後の2つの群のシラスが採集されました。

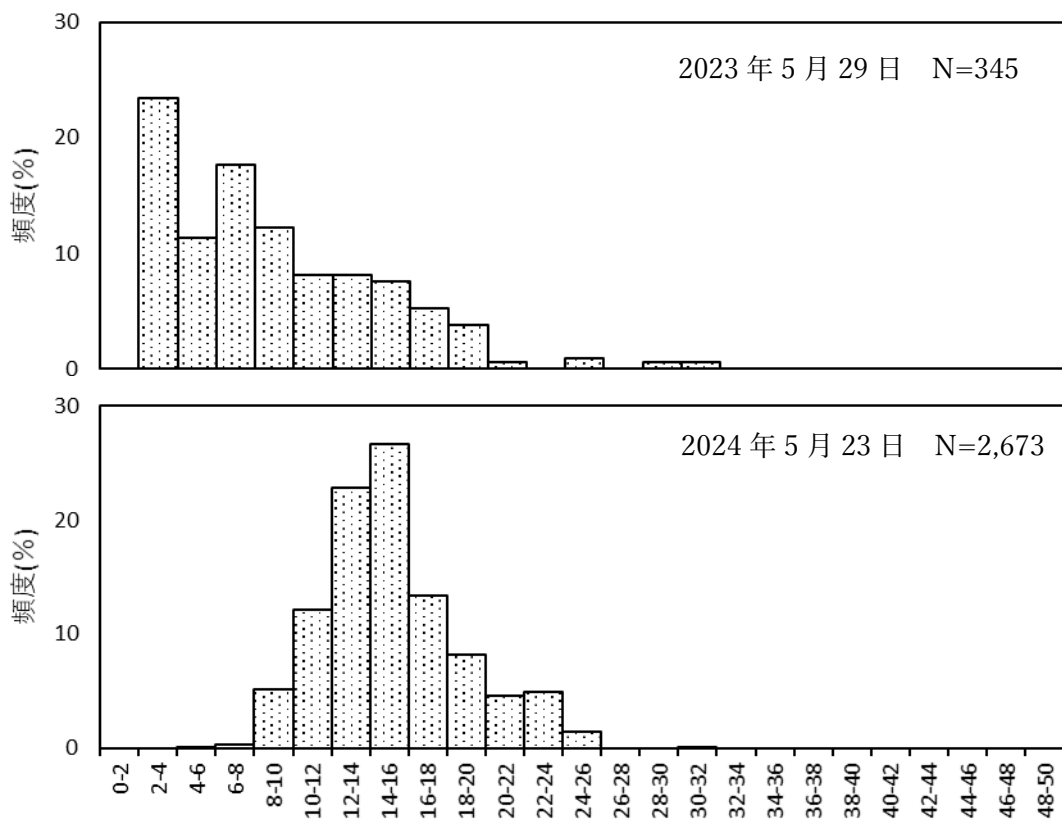


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

エ 過去の調査結果との比較(図3)

令和6年5月のシラス採捕数は平成18年以降で最も多い結果となりました(図3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図3(b))に示します。

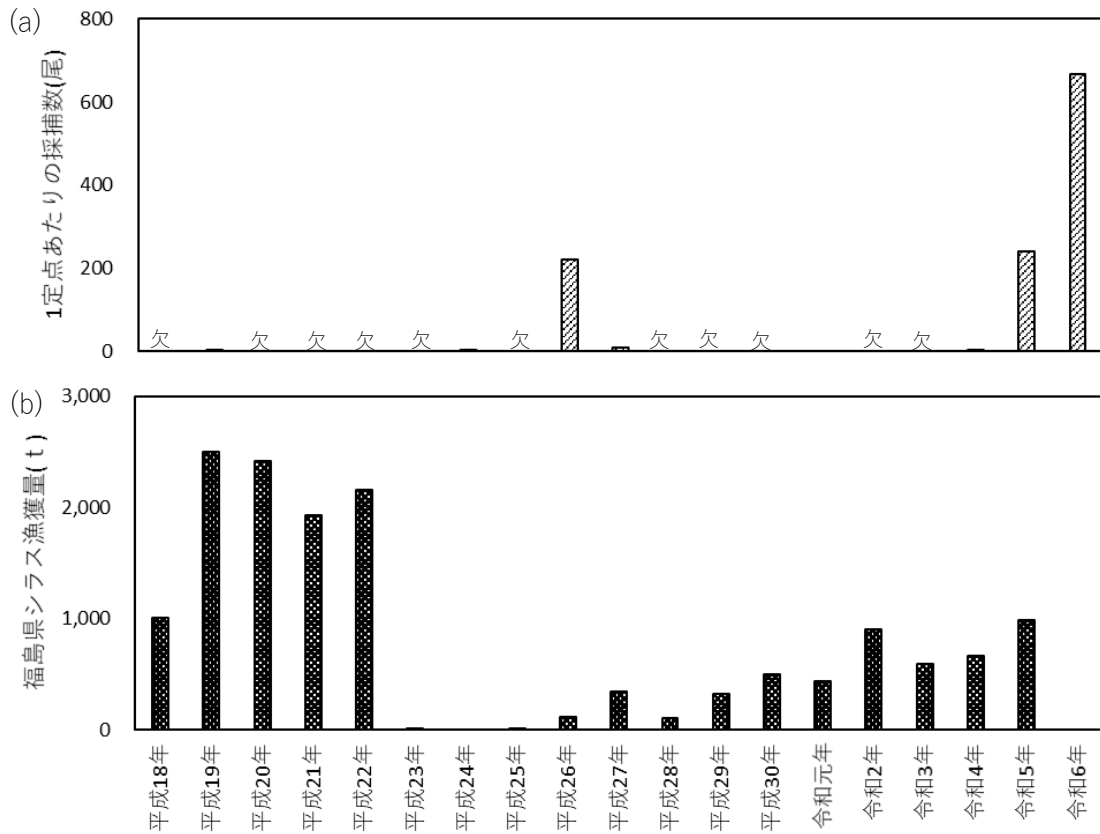


図3 (a)相馬海域における5月の1定点あたりの採捕数
(b)福島県の年別シラス漁獲量

1 双葉海域

(1) 調査日

5月22、23日

(2) 調査海域

37-30N 線上 141-03E(水深13m)、141-08E(水深30m)、
141-13E(水深68m)、141-18E(水深112m)

(3) 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)

水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網(船速約2kt)

(4) 調査結果

ア 表面水温(図4)

16.6°C~19.8°C

イ シラス採捕数(図4)

1 定点あたり 70~884尾 (合計1,884尾)

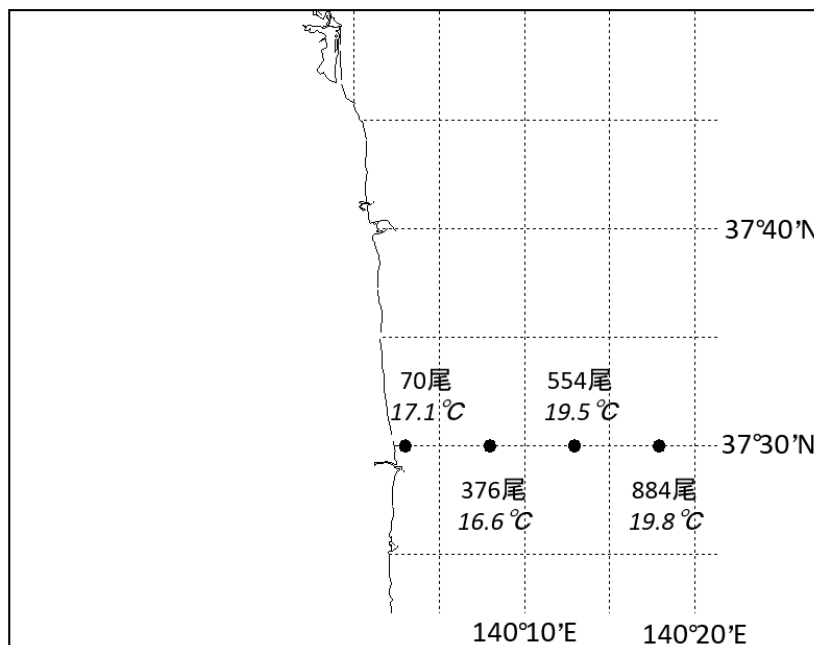


図4 カタクチイワシシラス採捕数

ウ シラス全長(図5)

全長範囲：4.3~34.0mm(モード：8.0~10.0mm)

10mm 前後、30mm 前後の2つの群のシラスが採捕されました。

141-03E では 15mm 前後、25mm 前後の2つの群、141-08E では 15mm 前後、25mm 前後、30mm 前後の3つの群、141-13E、141-18E では 10mm 前後の群のシラスが採集されました。

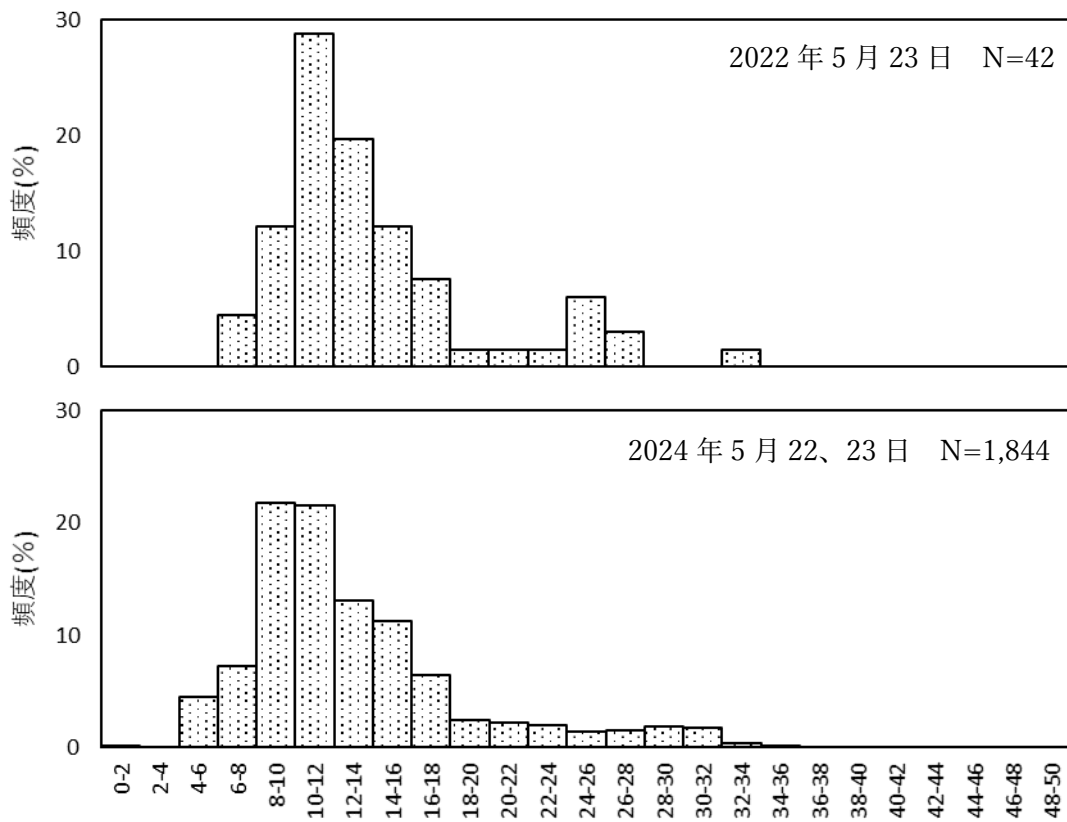


図5 カタクチイワシシラスの全長組成

エ 過去の調査結果との比較(図6)

令和6年5月のシラス採捕数は平成18年以降で最も多い結果となりました(図6(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図6(b))に示します。

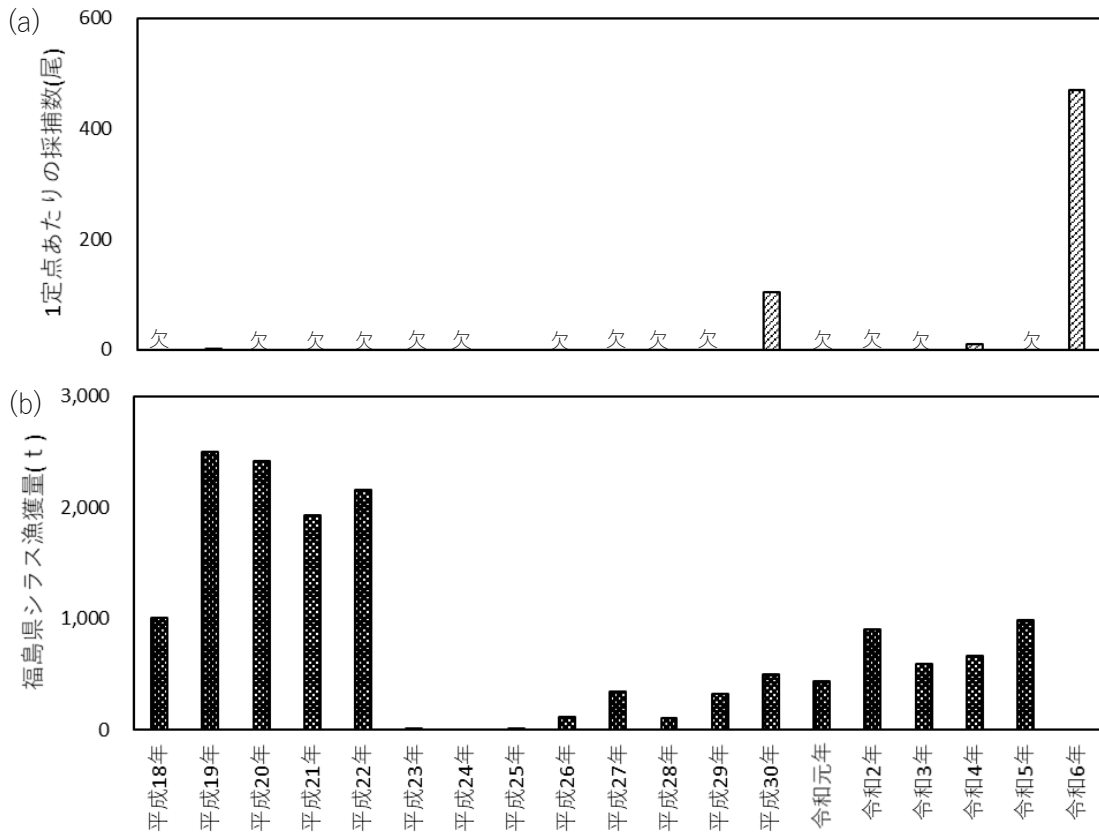


図6 (a)双葉海域における5月の1定点あたりの採捕数
(b)福島県の年別シラス漁獲量